

札幌 市民防災

第10号

平成26年3月31日
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 岡部 隆昭

平成25年度札幌市防災表彰式及び 札幌市自主防災セミナー2014

平成26年1月22日(水)中央区内のすみれホテルで、自主防災活動に熱心な町内会等に対する表彰式が上田札幌市長をお迎えして開催されました。

この表彰式は、平成2年度から毎年行われており各区から1団体ずつ選ばれます。今年度も10団体の代表に表彰状が贈られ、市長から、地域の特性を生かした防災活動を計画・実行され、住民の安全を守る活動をされていることに対し心から敬意を表しますとともに、災害発生直後は行政の力「公助」にも限りがあり、地域での自主活動が極めて重要になります。今後、他の地



札幌市長挨拶

域でも皆様の活動を見本として「自助」「共助」体制の防災活動が広まり、札幌市が災害に強い街になることを期待しますとのご挨拶がありました。

このあと「札幌市民防災団体連合会」の岡部会長から、今回受賞されました各団体の皆様に心からお喜び申し上げます。予測出来ない災害の発生直後には、地域の自主防災組織活動「自助・共助」だけが頼りになります。日頃から防災意識向上と自主訓練の積み重ねが重要となってきますとのお話がありました。

－ 表彰式に引き続き －

「札幌市自主防災セミナー2014年」が開催されました。

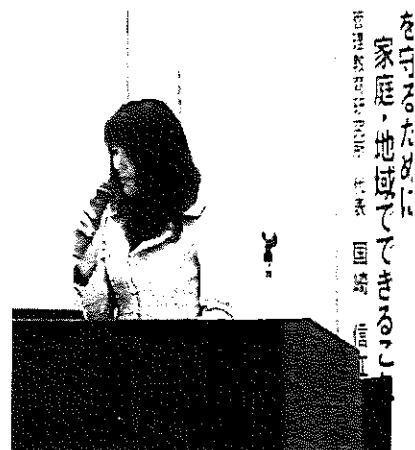
講師には危機管理アドバイザー岡崎信江様をお迎えし「巨大災害から地域を守るために家庭、地域でできることから」と題しての講演がありました。

昔の常識が、今は非常識になっているとの耳新しい言葉が出されました。例えば、昔の住宅は木造平屋建てが中心の家屋で燃えやすかったが現在は高層ビルが並び、

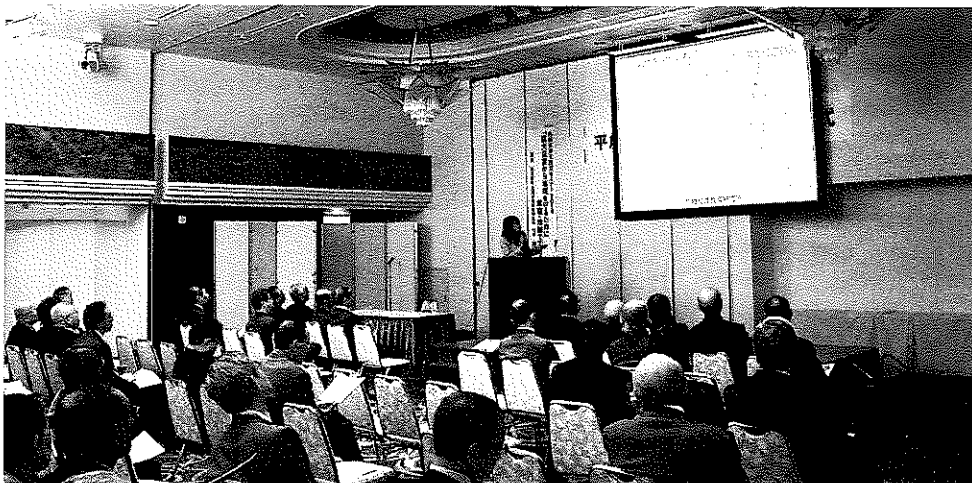
一般家庭でも2階建てが多く、科学物質が使われている事。耐火が進んだ住宅では炎でなく煙で多くの方が亡くなっているのが現状です。常に最悪を考え行動し、今の時代にあった防災、札幌にあった防災対策が大切であると話されました。



岡部会長挨拶



講師によるセミナー



会場風景

平成25年度 札幌市防災表彰式

受賞団体

- 中央区 南円山第1町内会
- 北区 北連合町内会
- 東区 北光地区自主防災組織連絡会
- 白石区 本郷町内会
- 厚別区 厚別中央町内会連合会
- 豊平区 南平岸地区町内会連合会
- 清田区 里塚緑ヶ丘町内会
- 南区 藤野地区町内会連合会
- 西区 発寒北連合町内会
- 手稲区 手稲曙第3町内会





収容避難所設営研修会を体験して

白石区本郷町内会会長 島田 清司

この度、札幌市防災表彰を受けました。25年2月に、胆振地方で雪による長時間停電により、町内会館に避難している場面がTVに映し出されているのをみて、この地区で長時間停電になると、会館に避難して来る人がいると、どの様に対処できるか、明かりは、暖房は、寝具は、そんなことから収容避難所を体験してみようと、役員を中心に計画しました。市の危機管理対策室、区の保健福祉課から、担当者に、実際にどんな災害が起き得るのか、避難所の具体的な運営の仕方を受講して厳寒の一晚を過ごしてみました。翌朝の反省会で何が足りないか、準備して置かなければならない物は何かを皆で話し合いました。

9月には、町内会員を対象に地域の避難所になっている中学校を仮想して、DIGにより避難経路等、避難所として校舎のどの部分を使用できて、どの部分は使用できないか等避難所のあり方を学びました、訓練の回を重ねるごと、新しい問題が出てきます、今回の表彰が、今後とも研修会を重ね、いざという時のための応援歌と認識し、災害は防ぐことはできませんが、地域の減災のために努力してゆきたいと思えます。有り難うございました。



安心安全を求めて！

南円山第1町内会会長 宮越 房夫

このたび、はからずも当町内会の自主活動の一環として取り組みをした『ぬくもりマップ（防災編）』等を媒体とする地域の防災普及活動に対し、札幌市長から表彰状が授与されました。

正に、思いもよらぬ光栄に浴し、深く感謝とお礼を申しあげるところです。

もとより、このぬくもりマップは、東日本大震災とその対策を教訓として、当町内会における防災力の向上等を目的として作られました。

マップの主な内容は、災害時における避難場所や非常持ちだし用品、連絡網の明示など、極めて基本的な事柄を図示したものです。

特に、このマップで意を用いたのは、災害発生時に自宅より直近の指定された避難場所に至る最短の避難経路を会員自らが道順を定め、マップに記録をし災害時の非難に備えられる内容にしたことです。

検討段階での役員会議では「この地区は、災害の無い安心安全な地域なので会員の皆さんに関心を持って頂けるだろうか」などマップの作成を危惧する声もありましたが、「…空振りなら喜ぶくらいの防災文化を私たちが創り合いたい（朝日新聞）」との教えに勇気をいただき、町内会員の自助努力に大いなる期待をし実施に踏み切りました。

これからは、札幌市長表彰の榮譽に恥じないよう安心安全なまちづくりのために、防災活動を積極的に推進して参りたいと考えておりますので、防災連合会の皆様には一層のご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。



防災訓練への参加者増を目指して

里塚緑ヶ丘町内会副会長 大下 優（会長代行）

今回の受賞は、町内における防災意識や知識を高めたいとの思いから取組んできた活動が認められたものと感謝いたします。

従来の当町内会の自主防災活動は、訓練への参加も少なく低調でした。平成19年以降、町内会員（一千世帯強）の半数が訓練を体験するという目標掲げて活動しています。

避難・被災状況を把握する本部訓練を組み入れるとともに、訓練の種目も工夫しています。さらに、回覧物だけでなく、ポスターや広報車も動員して参加を呼びかけています。また、その年の保犯防災部員さんには参加要請とともに防災センターでの研修にも参加をお願いするなど動機づけも行っています。

その結果、最近では参加数も倍増し、目標にも近づきつつあります。

受賞を励みに、さらなる防災意識の向上を目指して、自主防災活動に取り組んでまいります。

災害用伝言ダイヤル(171) 伝言の再生方法

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。

ダイヤル **171** ▶ガイダンス

こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。

録音される方は1(いち)、再生される方は2(に)、暗証番号を利用する録音は3(さん)、暗証番号を利用する再生は4(よん)をダイヤルして下さい。

(一部の通信機器において、「1」～「4」をダイヤルしても次のガイダンスに進めない場合があります。その場合は、「#」等をダイヤルしてください。なお本操作でも次のガイダンスに進まない場合は、ご利用機器のメーカーへお問合わせください。)

海の「もしも」は118番

海上でのSOSに、電話による緊急番号ができました。

海上保安庁は、海上における事件・事故の**緊急通報用**電話番号として、警察の110番や消防の119番のように覚えやすい局番なし3桁電話番号「118番」の運用を2000年5月1日から開始しています。

次のような場合に通報してください。

- 海難事故に遭遇した、または目撃した。
- 油の排出等を発見した。
- 不審船を発見した。
- 密航・密輸事犯等の情報を得た。



総会日程

日時 平成26年5月23日(金)午後3時00分

会場 アーバン札幌ビル・麒麟ビール園

(札幌市中央区南3条西4丁目) TEL 011-201-8000

編集後記

本州からは花便りが聞かれ、日一日と春の足音が近づいて参りました。

今回受賞されました各団体の方々からは学ぶことが多く、連合会として大変力強く思います。各団体の方は年間計画も決まり何かとお忙しく成りますが、活動には元気が一番です。町内会々員の皆様には多くの方に参加して頂き災害に強いまちづくりにガンバリましょう。

発行所 札幌市民防災連合会
広報部長 渡辺 恵美子

印刷所 北晃社 斎加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271